

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	76	学 校 名	静岡県立浜松東高等学校	校 長 名	鈴木 真一
------	----	-------	-------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	安心・安全な学習環境と健全な心身の育成	・「災害発生時に備え、時と場に応じた避難先・経路を把握している」と答える生徒80%以上。	91.4%	A	地域の方も参加していただき、自衛隊による救急搬送訓練を実施した。引き続き防災教育を推進していく。
		・「交通ルールを守っていると答える生徒」90%以上。	98.4%		重大な被害事故が1件。引き続き交通安全の啓発に努める。
		・「学校行事に積極的に参加し、人間関係が充実してきたと思う」と答える生徒80%以上。	93.2%		部活動以外の場面での人間関係構築も模索したい。
		・「悩みを相談できる人がいる」と答える生徒80%以上。	85.2%		生徒と教職員との信頼関係が構築されている。
		・「日頃から私物の整理整頓、教室等の環境整備（清掃含む）を意識している」と答える生徒80%以上。	93.2%		当番制の清掃に切り替えたが、概ね良好である。
		・「生徒が利用しやすい図書館環境が整っている」と答える生徒80%以上。	84.9%		この環境を生かした読書指導を考えていく必要がある。
		・「1年間で2冊以上の本を読んだ」と答える生徒50%以上。	66.4%		読書習慣の形成をより工夫する必要がある。
		・「芸術鑑賞教室が良かった」と答える生徒80%以上。	98.7%		コメディミュージカル「真夏の夜の夢」を鑑賞した。非常に好評であった。来年度は音楽鑑賞の予定。
イ	地域に貢献する担い手育成のための規範意識醸成	・「欠席・遅刻・早退をしないように努力している」と答える生徒90%以上。	94.2%	A	特定の生徒以外はおおむね良好である。否定回答層の生徒への個別支援を継続していく。
		・「学年行事や授業等で行った地域連携学習では、主体的に取り組むことができた」と答える生徒が80%以上。	93.0%		ダンス部、吹奏楽部、美術部、書道部、園芸ボランティア部、写真部等が地域で活動した。スポーツⅡではゴルフの指導を受けた。既存の地域連携にとどまらず、より主体的な取組を促す仕掛けが必要な時期に来ている。
		・「日頃から個人情報の取り扱い等に注意している」と答える生徒90%以上。	98.7%		引き続き個人情報の取扱いの注意喚起を行う。

様式第3号

		・「さわやかな挨拶ができ、身だしなみに気を付けている」と答える生徒 80%以上。	97.6%		さわやかな挨拶が励行されており、今後も本校の良さとして継続させていきたい。
		・「学校のきまりを守って生活している」と答える生徒 80%以上。	99.3%		引き続き規範意識を徹底させる。
		・「集団の中の一員として仲間を尊重し、行動できる」と答えた生徒 80%以上。	97.9%		生活環境改善活動（奉仕活動）に関して、浜松市から表彰を受けた。引き続き仲間を大切にす る集団の構築を目指す。
ウ	基礎学力の定着と進路実現に必要な学力の育成	・年2回以上の授業参観と年2回の生徒による授業評価が活用されている。	生徒による 授業評価 未実施	A	今後は、生徒が自らの学習を振り返るアンケートを作成し、その結果を踏まえて授業改善につなげていく必要がある。
		・「授業の内容に興味、関心を持てた」と答える生徒 80%以上。	88.1%		引き続き授業改善を続けていく。
		・「学んだことについて、考え、表現する力を伸ばすことができた」と答える生徒 80%以上。	86.9%		「思考・判断・表現」の観点について、引き続き研究していく。
		・「授業やHR活動等で、Cラーニングを活用した情報の送受信や、授業の課題提出を実施した」と答える生徒が 90%以上。	96.1%		多くの教員がCラーニングを積極的に活用している。今後は、より多くの授業で学力向上に寄与するようなICT活用を研究していく必要がある。
		・新しい学習指導要領に対応した指導法、評価の取り組み 100%	100%		今後も、生徒の実態を把握し、評価規準を見直していく。
		・「朝読書や朝学習にしっかりと取り組んでいる」と答える生徒 90%以上。	93.3%		落ち着いて取り組んでいる。より効果的な時間となるような仕掛けを考えていく
エ	キャリア教育の充実	・「生徒の適性や希望を生かす適切な進路指導を行っている」と答える生徒、保護者 80%以上。	生徒 90.7% 保護者 84.0%	B	進路課を中心とした指導の成果が表れている。生徒の良さを生かした進路実現を後押ししていく。
		・「社会に役立つ姿勢や資質を身に付ける教育が行われている」と答える生徒、保護者 80%以上。	生徒 94.1% 保護者 88.5%		引き続き、キャリア教育の場面を設定してしく。
		・「学校外の諸活動を通して、学校と地域との連携の重要性を体感できた」と答える生徒 80%以上。	81.7%		肯定回答は多いが、学校としての仕掛けは不十分であると感じている。今後の課題である。
		・「部活動で頑張っている」と答える生徒 90%以上。	89.6%		引き続き部活動を通して、人と人とのつながりや協力性を深めさせていきたい。
		・「自分の将来の生き方(進路等)について考えている」と答える生徒 90%以上。	86.5%		昨年度より数値が向上した。今まで以上に探究活動と結び付け、振り返る時間を設定するなど、内容を充実させていく。

様式第3号

オ	開かれた学校づくりの推進	・ホームページ・Instagramが週に1回以上更新されている。	いない	B	新ホームページとなり、更新担当者を今一度確認していく。
		・ホームページのアクセス数 年間50,000件以上。	評価不能		まずは作成方法に習熟していく必要がある。
		・情報の発信がPTA総会、発行物、メール配信等により定期的に行われている。	いる		PTA総会での情報提供や「浜松東高新聞」、「浜松東高かわら版」、ホームページ等を活用して、情報を発信した。作成した広報物がより多くの人の目に触れるような広報の仕方を工夫していく必要がある。
		・「保護者に対して行事や進路等の情報提供が適切に行われている」と答える保護者80%以上。	82.6%		Cラーニングの活用が活発になってきている。
		・広報活動を目的とした中学校への訪問 年間50校以上。	延べ80校以上		学校の魅力を整理し、出前授業及び管理職の訪問を継続する。
		・来場者数 浜東祭：1,000人以上。 一日体験入学：1,000人以上。 オープンスクール300人以上	浜東祭 900人 体験入学 1000人 オープンスクール 150人		体験入学及びオープンスクールの内容を検討し、学校の良さを伝えることで、志願者数の増加につなげたい。
カ	教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備	・校長は、毎月の職員会議等を通して、チーム内での情報の共有化を図る。	毎月、県からの情報を共有した	C	毎月、職員会議で資料を提示して説明した。
		・職員に対するアンケートを実施し、「遣り甲斐を感じている」と答える職員90%以上。	ストレスリスクは、全国平均より少なめ		「総合健康リスク」や「仕事の量的負担」等は、全国平均より少なめで、職場への適応状態は「やや良好」であった。 (ストレスチェック集団分析レポートの結果から)
		・管理職及び事務室は、ペーパーレスの推進を図るとともにGoogleアカウントを有効活用し業務のスリム化を図る。	ペーパーレス化の推進		職員会議はペーパーレス化で行った。面談日程表、授業見学計画表、職員動静表をGoogleスプレッドシートで共有した。今後も業務のスリム化を進める。
		・教職員全体で危機管理対応に関して意識を高め、安全安心な学校づくりを構築する。	情報共有した		危機管理マニュアルの読み合わせや不祥事根絶研修の中での共有を行った。
		・定期退勤日を個人個人設定し、同僚が周知することでお互いの協力や効率的な校務を進める。	不十分		個人ごとの定時退勤日の設定を今一度呼び掛ける。組織としては、完全退庁時間を設定し、以後在校する場合の実態を把握し、今後の方針を検討する。
		・出張による振替や変形労働制度を積極的に利用し、超過勤務の負担軽減に繋げる。	一部実施		管理職が個々の教職員の業務を把握し、負担軽減に努める。

